

(令和3年1月試験研究業務月報)

試験研究課題：ネギハモグリバエ別系統の発生生態の解明と防除技術の確立

研 究

ネギハモグリバエの遺伝子情報による系統判別

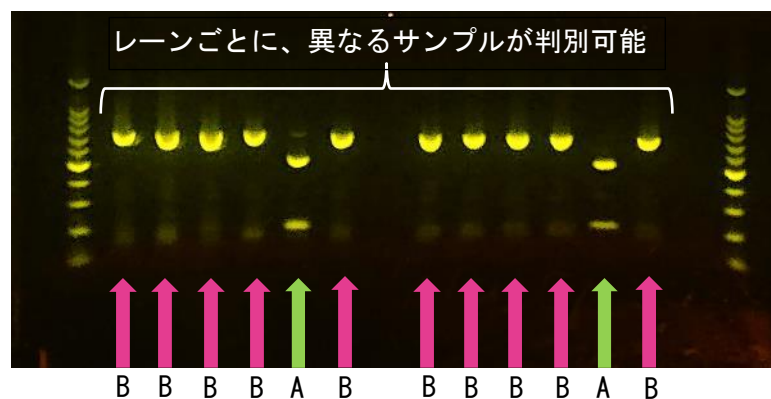
ネギハモグリバエはネギの葉中に潜り込んで食害する害虫です。従来は白い筋状の被害ですが、近年、葉が真っ白になる被害が発生しています。これが従来とは異なる新しい系統（別系統）のハエによる被害であることを、一昨年3月に当センターが国内で初めて報告しました。この別系統は従来系統と外観からは見分けが付きません。そこで、発生時期に府内で得た虫体のサンプルについて、今年1月に遺伝子情報を分析し、系統を判別することができました。

今後は別系統の生態、効果の高い殺虫剤等を明らかにし、ブランド品目である九条ネギ生産の振興に役立つ情報を生産現場に伝えます。



(左) 従来系統 (右) 別系統
ほ場での被害の違い

ネギハモグリバエ成虫
(見た目の違いによる従来系統、
別系統の同定は困難)



遺伝子の特定領域の違いにより、従来系統と別系統を判別できる（電気泳動写真）

A：従来系統 B：別系統